

## 宇佐美宏保団連歯科代表に聞く

— 歯科診療報酬改善の展望はどこにあるのか。

政府が一番怖がるのは、世論とマスコミの盛り上がりだ。戦後、大きな成果となった医療運動が3つある。義歯の点数

を大きく引き上げた「保

険で良い入れ歯」運動と

看護料を20%引き上げた

「ナースウェーブ」、

「内レンズ」の保険適用

だ。

「保険で良い入れ歯」

運動では、▽診療報酬に

おける技術料の引き上げ

▽患者の窓口負担の引き

下げを要求に掲げて取り

組んだ。この要求は、

患者・国民に広く受け入



の改定以外にはない。

これらの運動の教訓

は、患者、住民と開業医

が手を携えた運動が全国

規模で広がれば、医療費

抑制という政府の固い壁

を崩すことができるとい

うことだ。

運動を成功させるに

は、▽患者・国民との共

闘関係の構築、▽医療従

事者同士の一致団結が

大切だ。診療報酬が患者

・国民の受ける医療内容

の質を保障し、規定する

られ、全自治体の過半数に当たる1600を超

える地方議会で意見書が

採択された。こうした運

動の結果、1994年の

診療報酬改定では、総入

れ歯の点数が40%アップ

した。これほどの技術料

アップは後にも先にもこ

## 国民との共闘が重要

「保険でよい歯科医療を」大阪  
連絡会の街頭宣伝の様子



口負担の軽減など

受療しやすい制度

・体制をつくる一

ことであり、歯科

医師の収入を上げ

るためだけの狭い

運動にしてはなら

ない。

— 診療所から情

報発信と世論をつ

くるには。

当時も今も、患

者・国民の歯科医療要求

のトップは、常に「保険

の範囲を上げてほこ」

だ。

運動の目的は、▽医療  
内容を充実させる、▽窓

今年は、「保険で良い

入れ歯」運動発足から25  
年目を迎える。マスコミ  
対策も欠かせないが、患  
者と日々接する開業医に  
は待合室で情報を発信  
し、署名活動をするこ  
ができる。

過去の運動の教訓を汲  
み尽くして、「保険で良  
い歯科医療」署名を広げ  
よう。2018年報酬改  
定で引き上げを勝ち取  
り、低歯科医療費政策を  
打開していこうではあり  
ませんか。

(おわり)

保険で良い歯科を求めて

過去・現在・未来 ⑤